

令和7年度「南区基本計画推進部会」第2回会議 議事録

1 開催概要

(1) 日時

令和8年2月10日（火）午前10時～午後12時半

(2) 場所

南区役所第2会議室

(3) 出席者

氏名	所属	備考
天野 広一	唐橋学区自治連合会会長、南区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会世話役、南少年補導委員会南支部会長、南民生児童委員会会長	部会長
田中 一明	南区自治連合会会長、九条学区自治連合会会長	
尾崎 嘉彦	京都市立開建高等学校校長	
山田 正志	京都中小企業家同友会南支部	
横江 美佐子	南青少年活動センター所長	
小牧 徳満	クミンプロジェクト代表	
花里 尚悟	市民公募委員	欠席

（敬称略）

2 内容

(1) 開 会

(2) 挨拶

部会長 天野 広一

南区長 今井 邦光

(3) 議 題

現行の南区基本計画の総括及び南区まちづくり運営方針の策定について

<主な意見>

発言者	内容
天野部会長	<p>例えば、子育てや教育分野あるいは高齢者などの声は拾えている場合はあるが、子育て世代、現役世代の学区の中での参加が少ないと思う。</p> <p>また、安心安全マップづくりなど、警察署や地域の方々の目がある、知ってもらっているということについて、アピールをして、お互いが情報交換することはすごく良いことであるし、それを発展させることができている。</p> <p>第3期の基本計画の総括を踏まえ、運営方針策定に向け、残したほうがいい、これはやめる、これを発展させようかなど、意見を頂戴したい。</p>
横江委員	<p>すごくエネルギーも費用も掛かるので、今後どのようにしていくかは難</p>

	<p>しいと思うが、他区と比べてもふれあいまつりは南区が一番だと思う。</p> <p>ふれあいまつりの来場者には、自治会・町内会に入っていない人もいると思うが、そうした人も子どもを連れてきて楽しめると思う。そういう部分はひとつの価値として置いておくと良いと思う。</p> <p>久世の社協を訪問した際、地域の方とお話する中で、向日市にタワーマンションができることによりかなり危機感を持っておられ、久世西小学校の2年生ぐらいはかなり増えるという話を聞いた。久世の状況をみて、今までの自治会・町内会のような枠組みでいくのか、何か新たな仕組みがあるのかと聞いた。実際に久世は子どもの数が増えているのか。</p>
事務局	<p>小学校別の児童数の統計では、久世西が突出して多く、毎年、増えている傾向で、逆に京都駅周辺エリアの子どもは年々減っている傾向である。</p>
小牧委員	<p>我々40～50代が地域や南区のために興味を持ち、協力できるようになるのは、自身の子どもの小学生以上に上がった頃からだと思う。</p> <p>久世西学区は人がかなり増えており、熱の上がり方が全然違う。</p>
天野部会長	<p>久世中学校では、保育園、幼稚園の子どもと中学生が関わる取組がある。そうした取組を他の中学校へも広げて欲しいがなかなか広がらない。</p> <p>いきいきトーク等で聞いたが、それぞれの学区で子育ての仕方も違うというのが分かった。各学区の良さがあるので、良いところ取りをすれば南区の子育てはかなり良くなると思う。</p>
小牧委員	<p>南区は桂川で東西が分断されている地形の関係もあるので、川の東西の学区で意識的な部分での違いはあると思う。もっと簡単に行き来できる行事がちょうど川の真ん中であるなどがあれば良い。ふれあいまつりも久世から若い世代が行きにくいいため参加者が少ない。</p>
山田委員	<p>色々な世代や学校、地域、企業と連携が取れており素晴らしい。第3期基本計画が進んできて、運営方針もこの方向性で良い。みんなで作り上げるという達成感を持って、若い人たちをリーダーにして推進していくと良い。一体感を持って、みんなが楽しめるイベント等をやりながら地域が活性化していければ良い。現行計画をパワーアップさせた感じになるのが良い。</p> <p>現在、中小企業家同友会南支部は160人ぐらい会員がいる。会員数も増えてきており企業のパワーも活かしてもらえたらと思う。</p>
天野部会長	<p>南区民ふれあいカフェ「みなみなみなみ」も復活すべきだと思う。</p>
事務局	<p>後継イベントとして、「あつまれ！みんなのカフェ」を開催しており、まちづくりに興味、関心のある方が参加している。令和8年度には取組を更に充実させたいと考えており、そのような場をより多く開いていくということも運営方針の中に盛り込めていけたら良いと思っている。</p>
天野部会長	<p>令和6年度で終了した「かえっこバザール」は、南区循環型社会推進会議の取組として実施していたが、例えば、高校生が、子どものおもちゃを扱うイベントであれば、大人や親世代の考え方を知ることができるし、子どもたちが今、どういうもので遊んでいる等を知ることができる。高校生や中学生が知るとまた違う展開になるので、単発イベントでよいので、また考えてもらいたい。</p>
田中委員	<p>九条学区に86年住んでいるが、私が九条弘道小学校に通っていた時は、1学年5、6組あったが、去年から新小学生は4、5人くらいしかいない。また、ワンルームマンションが増えて生活保護受給者が増えている。九条学区は飲食店が多く交通の便も良いため、マンションが急激に増えたが、全部ワンルームマンション。古い家は外国人が買って行く。その</p>

	<p>ような中で、お年寄りと子どもと一緒に何かやれることができないかということで、必ず冬は九条元気まつりを開催しているが、これから先どうなるか心配している。</p>
天野部会長	<p>学区の小さなお祭りを南区全体で大切にしていけないといけない。打ち上げ花火的な取組を行っても意味がない。皆さんが、この時期にはこれがあるという感覚で覚えてくれると、それを楽しみに動いてくれるから良いと思う。</p> <p>歴史的には、このコースを通ったら面白いですよ、とかそうしたものを役所と一緒に発案していきたいと思うが、観光としての部分と、実際に生活しているものとしての部分と交流という部分を分けながら取組を進めていけないといけない。</p> <p>南区の元気に火を点けるのは誰か。現在は開建高校の生徒たちも元気に火をつけてくれており、少しずつ芽が出てきたと考えている。</p>
尾崎委員	<p>唐橋学区を中心に色々な形で助けていただいて学校の活動ができています。実社会、地域社会に入り込んでいくということを教育の中心において、地域とともに共創している学校づくりをしようとしている。</p> <p>昨年、時代祭を唐橋学区が担当されるということで、1年ほど前に天野会長から子どもたちにお声掛けをいただき、24名の生徒が参加した。参加後の生徒の姿は、ものすごい高揚感があった。京都の伝統文化に触れられたというのが大変良かった。</p> <p>ふれあいまつりでも区役所と調整して、2年前からブースを設け、生徒たちの学びになるようなアンケート調査、防災のアンケートを行い、パンフレットも作成できた。色々なイベントに参加するだけではなく、そこに学びがあるということ、実社会で経験する機会になっていると思っている。こうした経験を高校生がすることによって、いずれ大学に行って、社会に出て、また地域に戻ってきた時に、こうした活動にも参加してくれるのではないかと考えている。それ以外に市役所に入って頑張ろうという子も出てくるし、それがこれからの京都に繋がっていくのではないかと考える。学校現場でやれることは限られている部分もあるが、ぜひ、色々なことをやらせていただきたい。</p> <p>1月終わりに餅つきを2年連続で開催した。唐橋小学校の生徒や保護者など、たくさんの方に来ていただけた。野球部の生徒が小学生に餅つき体験をさせるなど、高校生が自分たちで企画してやっているというのが良いと思っている。</p> <p>開建高校から活性化して、南区が良くなって、生徒たちが将来、地域活動に参加したり、市役所で働いてくれたりしたら良いという思いで取組を行っている。</p>
天野部会長	<p>西寺の跡地で、西寺育成苑の利用者の方や唐橋小学校、八条中学校、開建高校がサツマイモを育てたいと言っており、教育委員会、文化財保護課と話をした。西寺の跡地は、文化遺産であるため文化庁からの補助金で持ち主から買い取ったため、畑にするのはダメだが、上に置くぐらいなら良いということだった。そのため、プランターを数十個置くようにすると話をしていたら、株式会社しんやさいの石崎さんが指導してくれる話が出てきた。このように、どこで活動が芽吹くか分からないので、高校生にまずはやってみたらと言っており、応援していくことが大切である。</p> <p>南区民文化芸能フェスティバルは、やりたいをやってきた人、習いたい人、高齢者の方もいらっしゃるし、若い人で民謡を歌っている方もいる。</p>

	<p>こちらが選択肢をたくさん作ることが大事だと思う。</p> <p>事務局からは南区まちづくり運営方針について提案はあるか。</p>
事務局	<p>現行の計画は7つの未来像と22の取組方針で、幅広い分野で計画を立てたものになっているが、まちづくり運営方針に関してはポイントを絞って載せる必要がある。今後も現行計画の取組を土台に進めていくが、掲載する内容は重点的なポイントとして、どれを取り上げるかについてご意見をいただきたい。今のところ、“みなみ力（地域力）” についての話が出ており、これがとても大事だというのが皆さん共通の意見だと思う。現状7つある未来像をそのまま生かすのか、こう変えた方がいい、22の取組方針のうちこれは残したいなどのご意見をいただきたい。</p>
横江委員	<p>昼間人口が多いので、例えば、塔南学区であれば、企業からの町内会費が割と多く裕福だという話を会長から聞いた。九条学区はそれが少なく、予算的に大変ではないかと思って聞いていた。南区の企業が税金を納めると思うが、その場合、南区の与えられる予算は増えるのか。</p>
事務局	<p>税金は京都市全体に入るため、直接南区に影響するわけではない。</p>
横江委員	<p>先日、中小企業の方から人手不足で、若い人を雇い入れたいがどうしたらいいかという相談があり、地域で働く、南区の企業で働くということが循環できて、南区にお金が入るという制度ができれば南区役所のモチベーションが上がるのではないかと思った。</p> <p>また、元々住んでいる方もいると思うが、外国人の方がすごく増えている。南区の中で、彼らの力や居場所と出番を考えた時に、どのように力を発揮してもらうのか、部会長がおっしゃった観光と生活がうまく調和できる方法を探っていく必要がある。</p>
田中委員	<p>今の状況は、外国人が増えすぎているように感じる。我々のような昔から住んでいる人が住みにくくなった。東寺の弘法市もあまりに外国人が多すぎて、高齢者は参加しづらくなっている。</p> <p>また、地価が上がり、家賃の安い家が少なくなってしまったが、頑張っで地域で生活できる環境を残していかないといけない。宿泊税のように何かしら課税した方がよいと思う。</p>
小牧委員	<p>地域ごとに抱えている問題は違うし、世代によって注目する未来像は違うが、7つの未来像は全て大事な内容である。まちづくり運営方針については、7つの未来像のまま、いずれかに重点を置くのが良いと思う。</p> <p>また、それぞれの取組に予算をしっかりと割り当てておかないといけないとは思いますが、何かあった時に柔軟に使える予算もあると良い。</p>
天野部会長	<p>学区ごとに様々な課題を抱えているので、例えば20万円の予算を確保しておき、どこかの学区で予算が必要になった時は、予算会議的なものを設けておいて審議するようにできないか。区役所で安心・安全の補助金があり、市の補助金もあるが、例えば、公民館を直すのに20万かかるとして、全額補助してもらいたいが、何割かは地元で負担してもらう必要がある。唐橋でも祭りの神輿の修理に100万円単位で費用がかかるが、補助金を繰り越して次年度分と併せて使うことができない。</p>
田中委員	<p>やはり地域に子どもがいるのは強い。子どもが参加すると親も参加するし、それが孫だとしたら祖父母の参加も増える。九条元気まつりでも孫が参加するから参加するという方が多くいた。</p>
天野部会長	<p>他都市ではスキー場を外国人が経営していることもあるが、京都でも観光と生活の場のすみ分けを早いうちから行い、まちを守っていかねばならない。南区でも手遅れになってほしくない。民泊なども生活者との調</p>

	<p>和が求められる。</p> <p>文化でいうと六斎念仏がある。久世、上鳥羽、吉祥院で全然内容が違うが、やはり若い人でないとなかなかあの演技はできない。久世は小学生がお年寄りから教わったり、上鳥羽は昔からの習慣で取り組んでいたりするなど、それぞれの学区で特徴が出ている。中学生にそこまで教えるのかと驚くが、小さいうちから教える必要があるということなので、守っていくことができる。</p>
山田委員	<p>7つの未来像と22の取組方針は散らばっている感じがするので、幸福度や活性化度をポイント制にするのはどうか。学区ごとに違う目標を決めて、やることは違うがそれを集約するなど、みんなで取り組む仕組みがあればワクワクしながらできる。</p>
事務局	<p>幸福度を指標にするという時代もあったが、何をもって測るかが大変難しい。結局アンケート調査になるが、どう運用していくかは十分に検討しないといけない。</p>
天野部会長	<p>例えば区役所別館のスペースを貸してほしいなど、どこかの学区が何かイベントをやろうとしたら応援してもらいたい。</p>
尾崎委員	<p>統計資料を見ると、南区全体で人口が増加しており、特に久世学区で人口が増加している。JR桂川駅・西大路駅周辺の人口が増加しているが、それが南区の人口増を引き上げる大きな要因なのか。京都市内の地価が上がっており、ほとんどの人があまり市内中心部に住めず、市外や府外に居住していると聞くと、京都市全体と比べると南区は比較的住みやすいと思う。何かそういう切り口で、まちづくりを進めることはできないか。</p>
事務局	<p>JR桂川駅・西大路駅周辺の人口増加が、南区の人口増を引き上げる大きな要因になっている。</p> <p>地価の上昇率では南区が一番高く、従来、比較的手を出しやすい住宅価格だったが、その強みが薄れつつある。JR沿いの桂川駅周辺はマンションが大量に建ち、人口がかなり増えている。次は向日町駅周辺が同様の状況になる可能性が高い。京都市が都市計画の見直しも考えているようなので、おそらくその周辺に集合住宅がたくさん立地する可能性が高い。</p>
尾崎委員	<p>京都市全体で人口が減っており、府立・私立・市立高校含めて高校の維持ができないのではとされている。</p>
事務局	<p>京都市全体では、人口の社会減が続いている中で、南区は、社会増をギリギリ保っている。都市戦略としては、南区の地価もそうだが、市内中心部は既に相当上がった中で人口が増え続けているのは南区の強みである。</p>
尾崎委員	<p>“みなみ力（地域力）”は一番大切であり、並列ではなく、その他の6つの中心にあるイメージと思っているが、未来像が7つもあると焦点がぼやけるのではないか。もう少しシンプルにまとめるのはどうか。</p>
横江委員	<p>他都市で生まれ育ったので地蔵盆などの文化はなかった。京都に来て、地蔵盆や六斎念仏などの伝統文化があることを知ったが、南区はそうした伝統を大切にしている世代が多いまちだと思う。他の地域から入ってきた人たちがもたらす新しい文化と昔からの文化が共生できるまちが良い。</p>
天野部会長	<p>両隣に誰が住んでいるのか分からないような関係性は寂しいと思う。</p>
横江委員	<p>地域に入っていくことは楽しいということを知りたいが、押し付けられてしんどいとならないようにしなければならない。</p>
尾崎委員	<p>事務局の話にあった都市計画の件だが、JR向日町付近にタワーマンションが建設できるのは向日市だからか。京都市では不可能なのか。</p>
事務局	<p>タワーマンションの建設は向日市だからできる。京都市では高さ規制が</p>

	ないエリアもあるが、容積率など様々な理由から事実上建設が難しい。
山田委員	「健やかに暮らせるまち」と「いのちと暮らしを守るまち」が似ていると思うので、7つの未来像を集約するのはどうか。 また、「いのちと暮らしを守るまち」は防災関連のことだと思うが、分かりづらいので「防災に強いまち」など端的に分かり易いほうが良いのではないか。
事務局	3月中下旬にもう一度この部会を開催する。その時には、本日いただいた意見をまとめ、たたき台としてご提案したい。本日、未来像が7つは多いというご意見を委員の皆様からいただいた。取組自体は減らさず、似ている部分を集約し、未来像の数、まちづくり運営方針でいうまちづくりの方向性を減らすということで良いか。
全委員	その方向で良い。
事務局	まちづくり運営方針については、左側に5年間のまちづくりの方向性を、右側に各年度の主な取組を記載するため、ある程度は重点化や絞り込みが必要だと思われる。とはいえ、A3用紙1枚にまとめたもののみで区民に伝わるかは別問題なので、その点は事務局でも考える予定。また、区役所に権限がない取組は区役所主体で取り組めるようフォーカスしたい。
横江委員	区役所に権限がない取組とは具体的に何か。
事務局	権限が全くないわけではないが、例えば、美しく環境にやさしいまちの4つ目の取組方針「地域の特徴を生かした調和のとれた景観づくり」は区役所よりも、制度などの関係もあり、建設局や都市計画局が主体的に動いている。 未来像の集約については、山田委員のご意見のとおり、「健やかに暮らせるまち」と「いのちと暮らしを守るまち」を、例えば「安心・安全に暮らせるまち」としてまとめることができる。 また、年齢を切り口にして、現状は子ども若者と高齢者で分けているが、これらも集約できる。先程の議論の中でいうと、年齢と世代をつなぐ、交わるとかちよつと違う切り口で掲載する考え方もあるので、ご意見をいただきたい。
田中委員	住みにくいまちになってしまったと感じるのは、子どもの通学路の自動車がとにかく多いこと。私が小学生ぐらいの頃は、その辺りの両側は小売店など生活に重要な商店が多かったが、今はホテルばかり建っている。行き過ぎたところまで来たと思う。
天野部会長	色々な変化がある中で、何を残してどのような新しいものを取り入れるかが重要である。
横江委員	観光とどう共存していくかを向こう10年で状況が変わることも考慮して策定すべき。
事務局	委員の皆さんからの案として、集約できるところは集約、環境の取組等は少しまとめやすいのではないかと、改めて“みなみ力（地域力）”は大切なので中心に据え置きたいとのご意見をいただいた。
天野部会長	まちづくりにはここまでやったら終わりというのが無いため難しい。本日、思いつかなかった意見はまた伝える。

3 閉会